

まちづくり交付金 事後評価シート  
豊田浄水地区

平成21年12月

愛知県豊田市

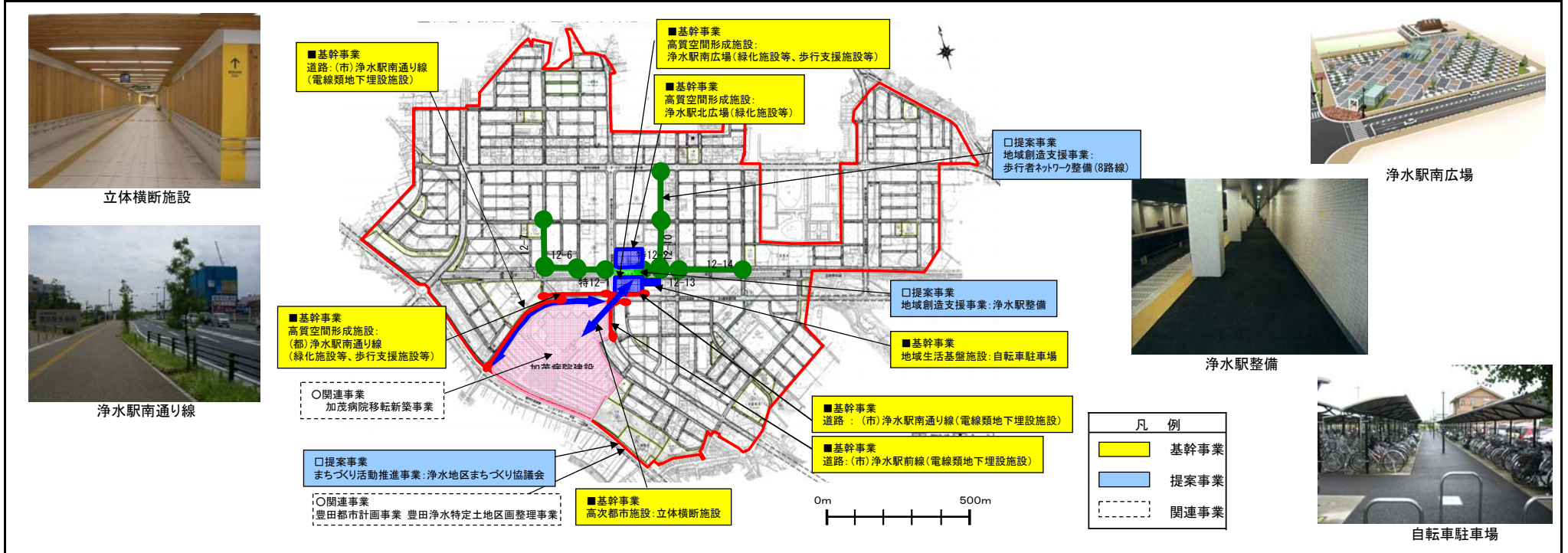
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	豊田市		地区名	豊田浄水地区			面積	156ha			
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	1,964.3百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	事業名													
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】市道浄水駅前線、市道浄水駅南通り線、【地域生活基盤施設】自転車駐輪場、【高質空間形成施設】緑化施設等(南広場、浄水駅南通り線)、歩行者支援施設、【高次都市施設】立体横断施設築造工事											
		提案事業	【地域創造支援事業】歩行者ネットワーク整備、【まちづくり活動推進事業】浄水地区まちづくり協議会											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】情報版(サイン)				将来管理者との調整ができなかったため			指標への影響が軽微なため、数値目標は据え置きものとする。				
		提案事業	【地域創造支援事業】ITシステムステーション施設、民有空間整備、【事業活用調査】DSRC駐車場システム検討調査・実験、病院外自動受付システム検討調査・実験、車椅子・シルバーカーの高度利用検討調査・実験				将来管理者との調整ができなかったため			指標への影響が軽微なため、数値目標は据え置きものとする。				
新たに追加した事業	基幹事業	-				-			-					
	提案事業	【地域創造支援事業】浄水駅整備				ユニバーサルデザインに基づく駅整備を行うため			指標2に関連するが、数値目標は据え置きものとする					
交付期間の変更	当初	平成17年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-								
	変更	-		-		-								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	定住人口の増加	人	約1300	H16	約3000	H21	モニタリング	評価値	4.500	○	あり	基幹事業である立体横断施設整備や提案事業である歩行者ネットワーク整備等により公共交通と結ぶ歩行空間が整備されたことにより地域の魅力が向上し、指標改善に影響を与えるものと考えられる。	平成22年4月
	指標2	駅利用者数の増加	人/日	約6800	H16	約7000	H21	モニタリング	評価値	9.014	○	あり	基幹事業である自転車駐輪場整備による交通結節性の向上や提案事業である駅整備等によって安心・快適な歩行空間が確保できたことが、指標改善に影響を与えるものと考えられる。	平成23年1月
	指標3	歩道設置道路のバリアフリー化率	%	0	H15	26	H21	モニタリング	評価値	26.2	○	あり	基幹事業である市道浄水駅南通り線事業や提案事業である歩行者ネットワーク事業及び関連事業によって、バリアフリー化が図られたと考えられる。	平成22年4月
	指標4	都市計画道路の緑化率	%	14	H15	41	H21	モニタリング	評価値	41.7	○	あり	基幹事業である市道浄水駅南通り線事業や提案事業である歩行者ネットワーク事業及び関連事業によって、道路や駅前広場の緑化が図られたと考えられる。	平成22年4月
	なし													
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	自転車駐輪台数	台/日	262	H15			モニタリング	評価値	350			基幹事業である自転車駐輪場整備により公共交通への結節性が向上し、自転車駐輪台数が増加すると考えられる。	平成22年10月
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>区画整理事業実施地区の保留地販売倍率が、他地区区画整理事業に比べ高い倍率であることから、まちづくり交付金事業と区画整理事業との相乗効果による影響があったと考えられる。</li> <li>車椅子で浄水駅を利用する方が増加しており、ユニバーサルデザインに配慮した浄水駅を含めた周辺整備による効果があったと考えられる。</li> <li>各種事業により、安全に移動でき、快適かつ潤いあるまちになったという住民意見が出ており、まちづくりの目標である「すべての人が安全・快適に移動することが可能な施設整備、空間確保を推進」を達成できたと考えられる。(豊田浄水地区のまちづくりに対する住民満足度調査・・・回答者数417人の内、「そう思う」が147人、「ややそう思う」が201人と合計348人(約8割)が評価している。)</li> <li>整備した道路沿いに新しい店が多く出店してきており、まちづくり交付金事業がまちの活性化につながっていると考えられる。(評価委員会より)</li> </ul>													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた					-	-					
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					-	-					
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					-	-					
住民参加プロセス	まちづくり協議会等のまちづくり活動支援	都市再生整備計画に記載し、実施できた					●	まちづくり協議会の活動を支援するなど、地域との共働まちづくりを積極的に推進する。						
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					-	-						
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					-	-						
持続的なまちづくり体制の構築	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた					-	-						
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					-	-						
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					-	-						

## 様式2-2 地区の概要

### 豊田浄水地区(愛知県豊田市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	標準値	目標値	標準値	従前値	標準値
公共交通と結ぶ歩行空間の整備 ・総合病院及び駅等複合拠点とし、すべての人が安全・快適に移動することが可能な施設整備、空間確保を推進	定住人口の増加	単位:人	約1300	H16	約3000	H21	4,500	H21
	駅利用者数の増加	単位:人/日	約6800	H16	約7000	H21	9,014	H21
	歩道設置道路のバリアフリー化率	単位:%	0	H15	26	H21	26.2	H21
	都市計画道路の緑化率	単位:%	14	H15	41	H21	41.7	H21
	自転車駐輪台数	単位:台/日	262	H15	—	—	350	H21



**まちの課題の変化**

- ・ユニバーサルデザインや環境・都市デザインに配慮した駅前広場の整備を行い、交通結節拠点の機能向上が図られた。
- ・総合病院への地下道整備において、地元からでた間伐材を利用するなど、地域の自然資源、歴史、シンボル性を踏まえた整備を行えた。
- ・駅のバリアフリー化や総合病院への天候に左右されないアクセス道路の整備が達成されたが、駅から総合病院へ地下で直接アクセスできるための整備が必要である。
- ・道路の無電柱化などによる防災機能の強化や、まちなみの景観向上が図られた。
- ・環境素材を使った透水性舗装や太陽光蓄電照明及びLED照明による省エネ対策など、環境に配慮した整備の推進が図られた。

**今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)**

- 効果を持続させるために行う方策
  - ① 交通結節点機能を維持する。
  - ② 地域の自然、歴史を広めるために、PRおよびイベント等の実施・支援に努める。
  - ③ 地下道の機能を維持するとともに防犯対策を向上させ、安全性を市民に周知していく。
  - ④ 高齢社会に対応したバリアフリー化をさらに推進する。
- 改善策
  - ① 浄水駅から地下道へ直接アクセスできるように整備を行う。
  - ② 居住者増に伴い、より幅の広い年齢層に対応した基盤整備を行う。
  - ③ ソフト事業の展開により賑わいのあるまちを実現させる。